

2008年1月・2月

人間歯科学研究会報

人間歯科学研究会

〒567-0883 茨木市大手町 7-26

FAX 072-626-6519

E-mail yoshihara@gold.ocn.ne.jp

平成20年、今年も「子」にちなんでチョコチョコと・・・

廃業、自殺そして昨年に引き続いて偽装、お詫びで始まった平成20年。成人式典もなぜか侘しい思いをした。ただし背が高くなった美男美女たちの姿はこれまでにない華やかさであった。

歯科界も廃業が多発すると予測されている・・・。

保険点数が0.42%引き上げられるといわれても、数字マジックにすぎないスズメの涙以下であると思わざるをえない。立派な診療所を開院される先生たちには大いに拍手を贈りたいが、先々の事を考えると心配は尽きない。前回の、幾つかの不祥事によると評価を下された日本歯科医師会がどこまで後押しができるかについても見守っていかねばならない。

あらためて人間歯科学

むし歯や歯周病などの病名治療より人間治療というスローガンを掲げて早くも10年が経った。今年は、手先器用でなく人間として尊厳が求められる年だという。再生医学にはじまって年金から介護保険まで、まさに人間科学の真髄に迫っている。

医科と同様に歯科にも看護師に相当する歯科衛生士がいるが、大阪歯科大学衛生士専門学校が3年制になってカリキュラムが大きく変わったかということそれ程でもない。今後4年制になって大学化するということだが、大阪歯科大学の歯科保健学科か学部になったほうが価値があるように思える。そのような事ができるのが私学の利点でもあり特徴でもあるといえよう。受験生も増え標準偏差値も上がるかもしれない。

確かな事は、人間歯科学が向上するといえる事だろう。